

『東京大学法科大学院ローレビュー』編集委員会に関する補足資料

2021年11月8日

東京大学法科大学院ローレビュー編集委員会

東京大学法科大学院ローレビュー編集委員会は、2005年に発足して以来16年にわたって編集活動を行い、毎年一冊の刊行を続けて参りました。しかしながら、コロナ禍の影響等もあり、第17期の編集委員の募集作業が難航し、第17巻の刊行が危ぶまれています。ここでは皆様にローレビュー編集委員会に興味を持っていただけるように、ローレビューや編集活動の内容をお伝えしたいと考えております。少しでもご関心のある方は、是非ご一読をお願い申し上げます。

1. 『東京大学法科大学院ローレビュー』について

本誌は、東京大学法科大学院（法学政治学研究科法曹養成専攻）の学生による研究成果の公表を主たる目的として、学生有志の手によって創刊されました。その後16年間、先生方の手をお借りしつつ、毎年一冊の刊行がされています。本誌は光栄なことに、投稿をして下さった皆さまのおかげで外部の論文でも多く引用がされており、一定程度の知名度を頂いております。

2. 編集委員会の仕事

学生が遂行する編集作業は、投稿の募集、投稿規程の策定、応募論稿の掲載に関する予備審査、審査結果の通知、投稿論稿の校正、補正事項の検討、電子ジャーナルの紙面等の企画・作成、ウェブ・ページのデザイン、その他の編集作業全般にわたります。学生の手で一つの論文集を冊子体で発行する活動は日本のロースクールでは珍しいものであり、貴重な経験になると考えております。

(1) 構成員（第16期の例）

- ・学生編集委員 12名
- ・教員編集委員 3名（畑瑞穂教授（民事訴訟法ほか）、樋口亮介教授（刑法ほか）、松井智予教授（商法ほか））

(2) 年間スケジュール（第17期の予定）

12月初旬	発足
～1月	委員の担当決め、投稿規程の作成
3月末	投稿の締切、査読担当の割振 在校生は文献収集・査読を開始（※1）
4月	リサーチペーパー説明会 （編集委員の人数によっては、追加募集者の合流（※2））

5月	卒業生は文献収集・査読を開始（※1）
7月	査読報告書の提出
8月	掲載論稿を決定する編集会議
9月	校正作業
11月	発刊

- ※1 在校生は7月に期末試験があるため主に4～6月に作業を行い、卒業生は5月に司法試験があるため5月末から作業を行います。
- ※2 二次募集の結果十分な編集委員を確保できなかった場合、新2年生を対象に再募集をする可能性があります。こちらについては追って連絡申し上げます。

3. おわりに

編集委員の活動は責任が伴うため、一定程度の負担はあると思います。しかし、優秀な構成員と様々な論稿について議論を重ねることで、見識を広げるとともに、法曹や研究者としても重要な能力を養うことができるという意見が、OB・OGの方からも挙がっております。また、論文集を作成するという機会も今後あまりないと思いますので、こちらもメリットとして挙げられると考えております。

さらにローレビューのことを調べて頂ける方は、ローレビューのHP（[東京大学法科大学院ローレビュー\(u-tokyo.ac.jp\)](http://www.u-tokyo.ac.jp/lr/)）にアクセスいただくと創刊時の様子等がより詳しく書かれておりますので、併せて宜しくお願い致します。

例年通りのクオリティの刊行をするためには、皆さまのご参加が不可欠です。少しでも興味・関心を持って頂いた方は、是非同日公開の二次募集に応募いただけたら幸いです。

質問事項等がありましたら、編集委員会のメールアドレス（sl-lr@j.u-tokyo.ac.jp）までお願いいたします。